

令和4年度「お台場プラーージュ」の開催について

区は、「泳げる海、お台場」の実現に向けた取組の一環として、平成26年度から地域住民との協働による海水浴イベントを実施しています。平成30年度からは2024年のオリンピック・パラリンピック競技大会開催都市であり「泳げるセーヌ」の復活を目指すフランスのパリ市と連携して「お台場プラーージュ」として開催しています。

令和2、3年度は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京2020大会」といいます。）の延期及び新型コロナウイルス感染症の感染拡大により開催を見合わせていましたが、令和4年度に3年ぶりに再開する予定のお台場プラーージュでは、引き続きパリ市との連携を図りながら、東京2020大会を次世代へ引継ぐレガシーとして持続可能な都心の水辺イベントを実施します。

1 名称

お台場プラーージュ ※プラーージュはフランス語で「砂浜」、「浜辺」のことです。

2 日時

令和4年7月30日（土）～8月7日（日）の9日間

午前11時～午後5時 ※8月7日のみ午前11時～午後4時

3 場所

都立お台場海浜公園（港区台場1-4）東側浜辺

4 参加費用

無料

5 主催等

- (1) 主催 港区、お台場プラーージュ地域連携チーム（有志の地域住民等）
- (2) 後援 東京都、在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本（フランス政府公式の文化センター）、（一社）東京臨海副都心まちづくり協議会
- (3) 協力 パリ市、港区教育委員会、区立小中一貫教育校お台場学園、区立台場児童館、（一社）港区トライアスロン連合、青少年対策お台場地区委員会、東京港埠頭株式会社

6 主な事業内容

都立お台場海浜公園内において、パリ市がセーヌ川周辺で開催している「パリ・プラーージュ」の雰囲気と、台場の眺望とを融合させたお台場ならではの海水浴エリアを設け

ます。海水浴や子ども向けアトラクション、地引網体験、海辺環境の普及啓発、パリ市PR・港区のオリパラ取組PRブース設置等を行います。

(1) 利用水域



お台場プラーージュ(遊泳エリア)
開催期間：7月30日～8月7日
※赤線は水中スクリーン



出典：国土地理院地図 (<https://maps.gsi.go.jp>)

(2) 会場エリア詳細

ア 会場演出

- ・パリ・プラーージュの雰囲気再現したパラソルやフランスをイメージしたオブジェを設置し、来場者のSNS等を通じた情報拡散を図ります。

イ 遊具等

- ・無料で浮き輪等を貸し出すほか、滑り台など子ども向けのアトラクションも用意します。

ウ 設備

- ・仮設のシャワーや更衣室、ビーチチェア、大型休憩テントを用意します。
- ・フロート付きのビーチ用車いすを貸し出します。

エ 出展ブース

- ・パリ市監修によるパリ・プラーージュPRブースを設置します。
- ・海辺の環境啓発PRブースを設置し、お台場の海で採れた生きものの観察会を実施します。
- ・港区のオリパラ取組PRブースを設置します。(聖火リレーランナーユニフォーム展示/聖火リレータッチ展示/パネル展示)

オ 安全管理

- ・東京海上保安部との事前協議の上で安全管理を行います。具体的には、遊泳エリアの中央と両端の3カ所に監視台を設置するとともに、ライフセーバー、会場スタッフを配置して遊泳エリア等の安全管理を徹底します。
- ・利用者向け救護所(1カ所)、迷子等の受付窓口(本部：1カ所)を設置します。救護所に看護師を常時待機させます。
- ・夜間等遊泳時間外も警備員を配置し、オブジェや会場内のテント等を巡回警備します。

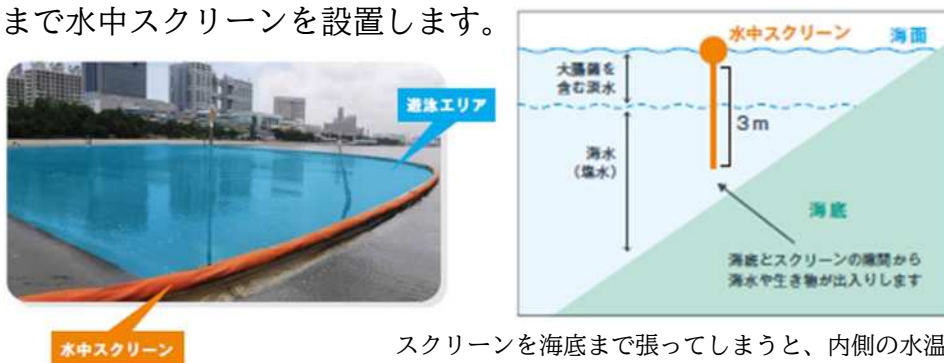
- ・小学生以下の子どもにはライフジャケットを貸し出して着用を義務付けます。
- ・熱中症対策として、定期的な休憩及び水分補給の推奨・注意喚起を行います。
- ・遊泳可否について、監視台等に3色（青『通常開催』・黄『遊泳注意』・赤『遊泳中止』）の旗を設置し、利用者に対して各色に応じたアナウンスを行います。
- ・遊泳者は、遊泳同意書（遊泳にあたっての注意事項）の記入を必須とし、小学4年生以下は、保護者（18歳以上）の同伴、未就学児は、保護者が常に監視することを条件とします。

7 水質対策

お台場では、晴天が続いている場合は環境省が定める水浴場水質判定基準をほぼ満たしていますが、雨が降った後、下水等の影響により、糞便性大腸菌群数（以下「大腸菌」という。）が基準値（1000個/100ml）を超えることがあるため、必要な対策を施し、衛生面の安全性を確認した上でお台場プラーージュを実施します。

(1) 水中スクリーンの設置

遊泳エリアへの大腸菌流入を防ぐために、7月11日から海水浴最終日の8月7日まで水中スクリーンを設置します。

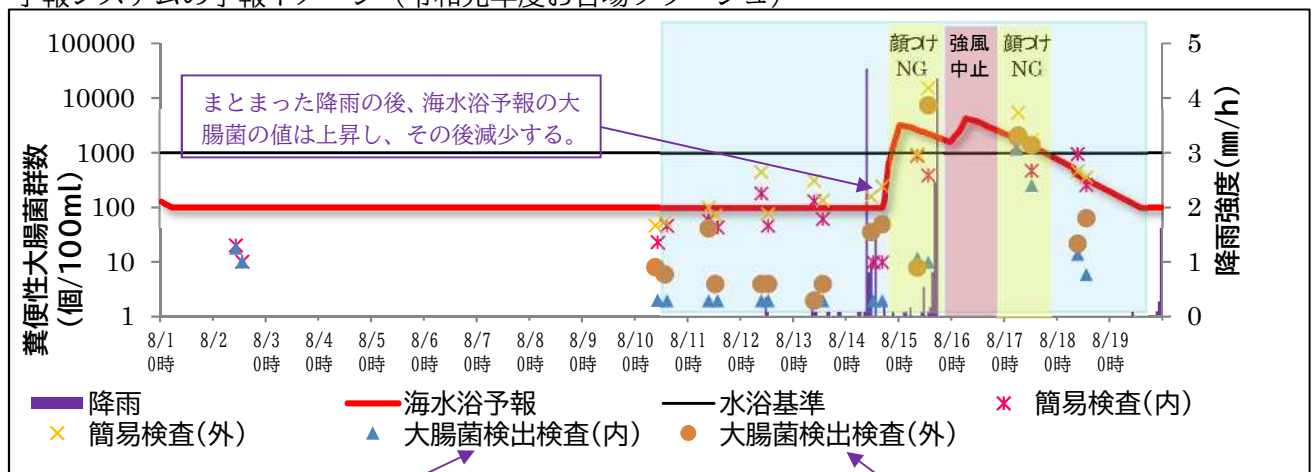


スクリーンを海底まで張ってしまうと、内側の水温が高くなってしまいます。そこで、海底付近に隙間を作り海水や生き物が出入りする空間を作っています。

(2) お台場海水浴予報システムの運用

区と中央大学との共同研究により構築した、当日の大腸菌の状況を予測する「お台場海水浴予報システム」（以下「予報システム」という。）を運用し、お台場海域の水質の事前確認を行うとともに、予報結果を会場内で周知します。

予報システムの予報イメージ（令和元年度お台場プラーージュ）



遊泳エリアは「大腸菌検出検査(内)」

海水浴予報は「大腸菌検出検査(外)」を予測

(3) 水質検査

7月14日から8月7日までの期間、環境省が定める水浴場水質判定基準に基づく各項目（大腸菌、油膜の有無、透明度等）について、1日1回以上、水質検査を行います。

8 新型コロナウイルス感染症感染防止対策

- (1) チラシ・ポスター、区ホームページ等での告知時に、体調に不安がある方等は来場を控えることを記載します。
- (2) 更衣室、休憩スペースのこまめな消毒・喚起、密集が生じない工夫を行います。
- (3) 遊泳時以外で人との距離が確保できない場合は、マスク着用の推奨を掲示等により明示します。
- (4) その他、MINATO新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインに沿った運用を行います。

9 パリ市との連携

- (1) 連携協定の締結
港区とパリ市の連携を一層深めることを目的に、港区とパリ市との新たな連携協定書（以下「本協定」という。）を締結します。
- (2) 令和元年度の連携協定との主な変更点
2020年東京大会および2024年パリ大会に関連して、パリ市の専門職員と都市の河岸や溜池、海辺等での水浴の促進に関して専門的な情報共有を図ることを規定します。
- (3) お台場プラージュにおける連携内容
パリ・プラージュの雰囲気再現したパラソルやフランスをイメージしたオブジェを設置し、来場者のSNS等を通じた情報拡散を図ります。また、お台場プラージュ会場内にパリ市PRブースを設置します。

10 周知計画

- (1) 芝浦港南地区情報誌「べいあっぷ」7月号
- (2) 広報みなと7月11日号、7月21日号及び8月1日号に掲載
- (3) 港区ホームページに掲載
- (4) 区内小・中学校の全児童・生徒向けにチラシ配布（約13,000部）
- (5) 区有施設、周辺企業等へのチラシ配布、ポスター掲出
- (6) ちいばす、お台場レインボーバス車内へのポスター掲出
- (7) 港区観光協会SNS（Visit Minato City）による情報発信